



www.fao.org

キャパシティビルディング (能力強化・向上)

主な動き

FAOウェブサイト内にあるキャパシティビルディングのポータルサイトでは、600近くの学習資料が入手できるほか、FAOが提供する65を超える学習サービスのリストが掲載されています。また、研究奨学金の提供機関のデータベースもあります。

これまでに10万人以上がFAOの各種eラーニング教材やプログラムを使用しています。

ウェブサイト上やCD-ROMで配布される専門分野別の学習モジュールを使い、700時間以上の学習を自分のペースで進めることができます。

FAOの農業消費者保護局は、2006～2007年だけでも700件のキャパシティビルディング活動を実施し、10万人以上に穀物と家畜の適切な育て方、水の保全、病虫害対策、食料の品質向上について教えました。

1980年代にFAOの革新的発想で始まったファーマー・フィールド・スクールは、もともとは穀物の害虫管理を助けることが目的でした。今では78カ国で実施され、活動範囲はすべての大陸に及んでいます。取り上げるテーマは20を超え、穀物、家畜、林業、漁業から収入向上まで多岐にわたります。設立以来これまでに1,000万人の農民がスクールを卒業しました。

自助努力を助ける

キャパシティビルディングとは、人々、組織、社会全体が自助能力を高められるよう、その能力を引き出し、強化し、維持するためのプロセスです。キャパシティビルディングはFAOの創設以来、その使命の中心にあります。現在でもFAOの新たな戦略枠組みで重視されている中核的な機能であり、開発途上国が農業・農村開発によって貧困削減と食料安全保障を実現できるよう、国家政策の策定と実施を支援します。

能力強化手段の見直し： 新たなアプローチ

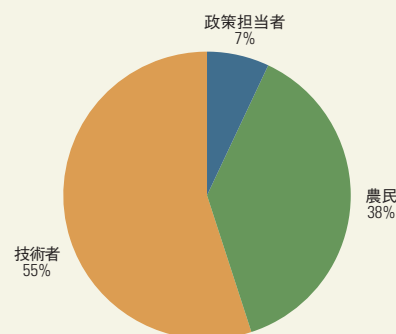
キャパシティビルディングは、FAO加盟国のほぼすべての規範的活動、支援事業活動の中心にあります。しかし、国連決議の採択や援助効果の向上に対する国際社会からの圧力の高まりを受け、最近FAOでは活動方法の見直しを行っています。

新たなアプローチでは各国の自主性をキャパシティビルディングの中心に据え、国内外の関係者、すなわち途上国とドナー国相互の説明責任を重視しています。

FAOの新しいキャパシティビルディング戦略の中心にあるのは、参加とパートナーシップです。システムやプロセスを支えるための変革が以下の指針に沿って行われています。

- 途上国のニーズと優先課題を把握し、それに沿ってキャパシティビルディングの活動とプロジェクトを計画する。
- 途上国自身のリーダーシップと、その国の持つシステムや地元の知識を活用することが大事である。
- 適切なアプローチと手法が用いられるよう、FAO職員の意識と技能を向上させる。
- キャパシティビルディング活動に持続性を持たせるため、FAO加盟国に対し、キャパシティビルディングを国家の開発計画・政策に組み込むよう奨励する。
- FAOは、他の国際開発組織から得た農業に関する優れた実践法を取り入れ、加盟国に対する支援の内容を充実させることができる。

研修の対象グループ



出所：FAO



フィリピン・ミンダナオ島で農業研修に参加する村の住民たち

©FAO/Gahag

3つのレベルでの活動

FAOはキャパシティビルディング活動の先駆者として、人々の自助努力に手を貸すことは、単に彼らを教育することにとどまらな思考しています。キャパシティビルディングが成功するかは政府の強い意志にかかっており、実施に際しては、政策、組織、個人の3つのレベルで取り組みが行われなければなりません。

1.政策：キャパシティビルディングを重視した政策は、最初の重要なステップです。FAOは国、地域、世界の各レベルで国や機関がこうした政策を立てられるよう支援しています。

具体的には、知識と経験の共有、政策・戦略分析での助言や技術援助のほか、政策プロセス（紛争解決、交渉、円滑化など）の策定、実施、監視、評価、管理などがあります。

2.組織：キャパシティビルディング活動の中で最も複雑な作業を要するのが組織に関わるものです。健全な組織の存在は、統治力を高め、人々の行動に影響を与えることができます。FAOは農林水産省、農業研究普及センター、民間貿易業者の連合会、銀行やマイクロファイナンス機関、生産者組織、非政府組織など

の機関の強化に努めています。

3.個人：キャパシティビルディングで3つめに重要な要素が個人です。FAOは、通常は国や地元の仲介者の助けを借り、農家と技術者の知識・技能の向上を図っています。活動に当たっては、地元の技術・職業訓練センターと協力しています。このほか加盟国の教育機関とも協力し、個人の能力を高めるプログラムを開発しています。

FAOの能力強化方法

FAOでは実際にさまざまな方法を駆使して、キャパシティビルディングを図っています。

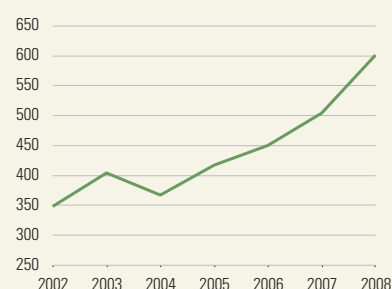
政策レベルでは、FAOは加盟国の主要機関が新しい政策と公共・民間・市民社会組織の役割の変化による影響を分析できるよう支援します。例としては、最近のベリーズ政府との協力関係があり、この結果、生物安全保障に関する5つの法律が可決されたほか、ベリーズ農業衛生局が創設されました。

組織レベルでは、商業生産者組織、企業、協同組合、官民サービス事業者、農村組織の収益向上に貢献しています。FAOでは生産者組織が全メンバーと協議を行い、等しく代表するよ

う奨励しています。機関が有効な働きをすれば、農村社会が政策に影響を与え、緊急支援、復興活動、開発・投資事業の恩恵を得る機会が生まれます。2008年にはFAOは85カ国の生産者組織を支援しました。2009年にはさらに69カ国で同様の組織を支援する予定です。

FAOは、個人の能力向上に焦点を置いた政策や計画を奨励するために、加盟国の教育機関と連携しています。具体的には、カリキュラム、教材、評価方法の開発などを行っています。研修はFAOの取り組みの中心であり、年間5万人以上に研修を行っています。パートナー国による研修も増えています。

FAO 現地プログラム支出額（百万米ドル）



毎年、FAOの通常予算から3億5,000万米ドル以上の資金が能力強化を直接・間接に支援する技術活動に充てられています。FAOは増大を続ける特別予算枠の資金も活用しています。2008年の特別予算は7億米ドルを超えました。

出所：FAO

研修と学習

授業、ワークショップ、体験学習など従来の直接顔を合わせる形式の研修に代わり、コンピューターを使った遠隔学習が行われています。FAOのキャパシティビルディングのポータルサイト（www.fao.org/capacitybuilding）からは遠隔学習用の教材を入手することができます。フェロシップや奨学金制度の運営も各国の政府・機関との協力によって運営し、FAOがまとめ役を務めています。たとえば、ハンガリー農業省と設立した奨学金プログラムでは、5年の期間でさまざまな国の学生100人に奨学金を授与し、農学の多様な研究分野の修士号を与えることになっています。



ワークショップでFAOデータベースの利用法について学ぶ統計専門家たち

©FAO/ve Baldieri



国際連合食糧農業機関（FAO）
Viale delle Terme di Caracalla
00153 Rome, Italy

電話：(+39) 06 57051
ファクス：(+39) 06 57053152
Eメール：FAO-HQ@fao.org

報道機関問い合わせ先：
電話：(+39) 06 57053625
ファクス：(+39) 06 57053729